

平成 25 年 2 月 4 日  
電源開発株式会社

タイ国・サラブリ KP2 コージェネレーション発電所の営業運転開始について  
～今年 2 件目の SPP 営業運転開始～



電源開発株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：北村雅良、以下「Jパワー」）がタイ国において参画しているサラブリ KP2 コージェネレーション発電所（出力 11 万 kW、以下「KP2」）は、本年 2 月 1 日に営業運転を開始しましたのでお知らせいたします。

KP2 は、Jパワーのタイ国現地事業会社 Gulf JP KP2 社（Jパワーの出資比率 90%）を通じて開発を進めてきており、営業運転開始後は、タイ国の SPP プログラム（小規模発電事業者買取保証制度）に基づきタイ国電力公社（EGAT）に 25 年間にわたり電力を卸販売するとともに、立地する工業団地内の一般顧客に電力・蒸気を販売していきます。

KP2 の営業運転開始により、Jパワーが参画する営業運転中の海外 IPP プロジェクトは 30 件・出力合計約 1,699 万 kW（持分出力約 413 万 kW）となりました。

現在、Jパワーはタイにおける新規プロジェクトとして、KP2 を含めた 7 件の SPP 事業、2 件の IPP 事業（ノンセン地点、ウタイ地点）の開発を進めております（9 件合計で 399 万 kW）。7 件の SPP については本年中の運転開始（内 2 件は運転開始済）、ノンセン地点およびウタイ地点についてはそれぞれ平成 26 年と平成 27 年の運転開始を目指し、建設工事を進めております。

以 上

【別紙－1】7SPP 事業、2IPP 事業の位置図

【別紙－2】タイ国における開発中のプロジェクトについて